

BeeDep-MONGOL 2 Newsletter

No.2

April 2021

BeeDep-MONGOL 2

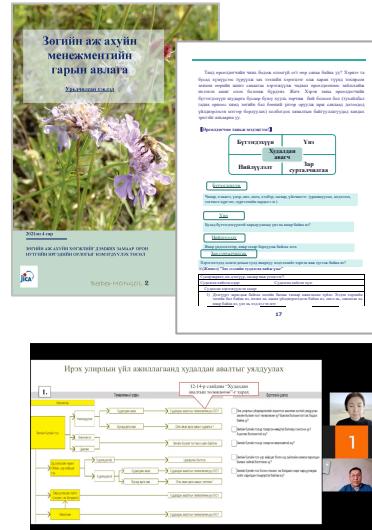


養蜂経営マニュアルver.2が間もなく完成！

BeeDepプロジェクトでは、ダルハンオール県をモデル地域として、養蜂振興の手引書の作成に取り組んでいます。昨年は、手引書の構成要素となる飼育技術・品質管理マニュアルと養蜂経営マニュアル（Ver.1）を作成しました。

現在は、これまでの活動で得られたフィードバックを踏まえ、養蜂経営マニュアルの改訂版（Ver.2）を作成中です。改訂版は、養蜂家が持続的に養蜂経営を行っていくよう、自身の製品の強みやターゲットの考え方、コスト計算の方法、ブランディングの手法等について、実践的に学べる内容となっています。Ver.2の完成は4月下旬を予定しています。

なお、3月下旬に、マニュアルの内容に基づいたオンラインセミナー（第16～19回）を行い、Facebookに動画を公開しました。ぜひご覧ください。



関係機関との連携が進んでいます

3月3日に、FAOがモンゴルで実施している Livestock Commercialization Project (FAO-LCP) と、JICAの農牧業バリューチェーンマスターープロジェクト (JICA-MONMAP) の3者間で、情報交換のためのオンラインミーティングを行いました。

FAO-LCPでは、養蜂を含む8分野において獣医向けのカリキュラムづくりを進めており、養蜂のカリキュラムに関しては、BeeDepが作成に協力しました。一方、JICA-MONMAPでは、BeeDepの成果を活用し、ハチミツ分野のパイロット事業の一環として、獣医と食品検査官向けの研修を行っていく予定です。

4月6日には、ボルガン県職業教育・訓練学校とオンラインミーティングを行いました。ボルガン県では2019年から「Bulgan-Zugii（ボルガンの蜂）」プログラムとして、養蜂の生産性向上や蜂群の配布に取り組んでいます。この活動をサポートするため、この春、専門学校に養蜂コースが新設されました。BeeDepでは専門学校に対し、養蜂に関する情報提供やカリキュラムの提案を行っており、今回のミーティングでは、現行のカリキュラムへの助言を行いました。

BeeDepでは今後も、これら関係機関と定期的に情報交換を行い、連携を図りながら、活動を進めていきます。

プロジェクトFacebook :

www.facebook.com/BeeDep-MONGOL-2-107843977265085/?modal=admin_todo_tour

オンラインセミナー配信中！

メンバー紹介②



サブマネジャー
森 麻衣子

この1年は残念ながらモンゴルに足を運べませんでしたが、オンラインセミナーに多くの反響をいただきました。今後も引き続き、皆さまからのフィードバックをお待ちしています。



現地プログラムオフィサー
D. ウーガンバヤル

本プロジェクトがモンゴルで実施されていることは大変幸運であり、この機会を十分に活かすためには、養蜂家と関係者の積極的な関与が必要です。養蜂家や関係機関の皆さまのご協力に感謝いたします。

